NEWS RELEASE

サステナビリティ

2025年4月16日

TOTOギャラリー・間が開設40周年

建築文化の発展、次世代育成に寄与

TOTO株式会社（本社：福岡県北九州市、社長：田村　信也）が、**社会貢献活動の一環として運営している「TOTOギャラリー・間（ま）」（東京都港区）は、2025年10月に開設40周年**を迎えます。

TOTOギャラリー・間は、建築文化の醸成・育成をとおして社会に貢献することを目的に1985年に開設しました。若手から世界で活躍する国内外の建築家やデザイナーまで、個展を中心に展覧会を企画し、開催回数は累計179回※1となります。

展覧会では出展者の思想や価値観を凝縮させたメッセージ性のある空間体験を、関連イベントとして開催する講演会では出展者自身の言葉で思想や価値観を直接語っていただくことで、建築に対する理解を深めてきました。また、出展者と交歓する機会をさまざまなプログラムで提供する等、次世代育成につながる活動をグローバルに推進しています。

TOTOグループは、事業を通じて社会の発展に貢献し、世界の人々から信頼される企業を目指しています。これからも建築文化活動をグローバルに展開することで、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

※1.　2025年4月現在

平田晃久展「Discovering New」（2018年）
© Nacása & Partners Inc.

TOTOギャラリー・間　企画展「How is Life?――地球と生きるためのデザイン」（2022年）　© Nacása & Partners Inc.

TOTOギャラリー・間の活動とおもな実績

TOTOギャラリー・間は、1985年に東京・乃木坂に開設した建築専門ギャラリー。40年にわたり建築家の個展を中心に年3回の展覧会・講演会を無料で開催し、展示コンセプトと空間デザインを出展者である建築家に委ねることで、建築の多様な価値伝達と空間体験を創出しています。この活動を通じて、建築に対する理解を深め、社会における建築文化の重要性を広めています。

展覧会開催回数 ―――― 累計 179 回
講演会開催回数 ―――― 累計 313 回（海外開催含む）
活動総参加人数 ―――― 延べ 158 万人

TOTO の建築文化活動

TOTOは、建築専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。これらは、建築文化の醸成・育成をとおして社会に貢献することを目的として創設しました。「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」は、建築家やデザイナーがもつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉を伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築の文化的な価値を社会に発信しています。

TOTOギャラリー・間（1985年～）

TOTOギャラリー・間は、2015年の30周年に際して、新たに「次世代育成」と「グローバル」というテーマを設定しました。以来この2つの重点テーマを軸として活動しています。

次世代育成の取り組み（2015年～）

「次世代育成」の取り組みの一環として、小学生から大学生まで幅広い層へ建築の面白さや魅力を伝えるラーニングプログラム（ギャラリートーク、ワークショップなど）を実施しています。さらに、出展者と共に日本各地の大学と連携して講演会を開催しています。

「How is Life? 」展　茅葺きワークショップ（2022年）

グローバルの取り組み（2015年～）

TOTOグループの海外拠点との連携により、世界の国と地域で展覧会・講演会を開催しています。特に日本の先進的建築事例に関心の高いアジア各地で重点的に実施し、学生層からプロフェッショナルまで、毎年多くの方が参加されています。

左：SANAA講演会　タイ（2024年）
右：塚本由晴講演会　ベトナム（2023年）

沿革・おもな受賞歴

1984 年	TOTOデザイン顧問委員会DAC（TOTO Design Advisory Committee）を発足 メンバー：安藤忠雄氏、川上元美氏、黒川雅之氏、杉本貴志氏、田中一光氏
1985年	DAC発案により、東京・乃木坂に「ギャラリー・間」を開設 ギャラリー・間運営委員会を発足（初代メンバーはDACメンバーの5氏が就任） 同年10月、第1回展覧会「フランク O.ゲーリィの建築」開催
1989年	日本文化デザイン賞「企業文化デザイン賞」受賞

1995年	TOTO出版と連動した展覧会関連書籍の出版開始 10周年記念展「出展作家の原点展 The 53 Origins」開催
1997年	毎日デザイン賞「特別賞」受賞
2000年	日本各地の大学等との共催による巡回展の開催開始
2002年	メセナ大賞2002「情報発信賞」受賞 100回記念展「この先の建築 Architecture of Tomorrow」開催
2004年	TOTOグループ海外拠点との連携による海外講演会の開催開始
2005年	20周年記念展「日本の現代住宅 1985-2005」開催
2013年	遠藤信行代表（当時）が「日本建築学会文化賞」を受賞
2015年	「TOTOギャラリー・間」に改称。新テーマ「次世代育成」「グローバル」を設定 30周年記念展「アジアの日常から：変容する世界での可能性を求めて」開催
2018年	TOTOミュージアム（福岡県北九州市）での巡回展の開催開始
2022年	スチューデントマンデー（休館日を利用した課外授業活用）開始
2025年	開設40周年を迎える

活動の公平性を維持するしくみ

展覧会の企画は、社会における公平性を担保するために、「TOTOギャラリー・間運営委員会」にて審議・決定しています。

TOTOギャラリー・間運営委員会

特別顧問：安藤忠雄（建築家、安藤忠雄建築研究所）

運営委員：貝島桃代（建築家、スイスETH教授、アトリエ・ワン）、平田晃久（建築家、京都大学教授、平田晃久建築設計事務所）、セン・クアン（建築史家、東京大学特任准教授）、田根 剛（建築家、ATTA

安藤忠雄
© Kinji Kanno

貝島桃代

平田晃久
© Luca Gabino

セン・クアン

田根 剛
© Yoshiaki Tsutsui

特別顧問　安藤忠雄氏からのメッセージ

TOTOギャラリー・間の開館40周年おめでとうございます。
建築という文化を世界に発信するためによく頑張ってこられました。
これからも常に新しい時代を見据えながら、
建築やデザインの未来を切りひらく場であり続けてください。

2025年4月16日　安藤忠雄

TOTOギャラリー・間　40周年記念企画

TOTOギャラリー・間40周年を記念して、記念企画展を開催します。

記念企画1「篠原一男　空間に永遠を刻む――生誕百年　100の問い」
会　期：2025年4月17日（木）～6月22日（日）

記念企画2「新しい建築の当事者たち」
会　期：2025年7月24日（木）～10月19日（日）

記念企画3「（仮称）マリーナ・タバサム展」
会　期：2025年11月21日（金）～2026年2月15日（日）

展覧会の詳細は、TOTOギャラリー・間ホームページをご覧ください。
https://jp.toto.com/gallerma

施設概要

施設名称 ―――― TOTO ギャラリー・間
所在地 ―――― 東京都港区青山 2-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F・4F
展示面積 ―――― 240m2（GELLERY 1、GELLERY 2、中庭）
開館時間 ―――― 11:00～18:00
休館日 ―――― 月曜・祝日・夏期休暇・年末年始・展示替え期間
入場料 ―――― 無料

TOTOギャラリー・間　外観

TOTO出版（1989年～）

TOTO出版は、1989年に創設し、建築・デザイン・生活文化をユニークな視点でとらえた書籍を出版しています。1995年以降TOTOギャラリー・間と連動して展覧会関連書籍を発行。2024年に35周年を迎えました。これまで展覧会関連書を含めた建築家の作品集の発行点数は195冊。多くの書籍に英語を併記し、海外にも流通しています。

発行点数 ――― 405点
発行部数 ――― 累計306万部
書籍流通国数 ――― 31の国と地域

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康

環境

人とのつながり

「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、
「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として
サステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」にも貢献していきます。

https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan